

アドバイザーグループ会議報告

グローバルヘルス人材戦略センターでは、年2回活動の方向性と成果について外部有識者の方々のご意見を伺っています。今回は9月6日に開催され、本年度8月末までの活動と今後の活動計画についてご意見を頂きました。2019年度の今までの成果を紹介します。まず、来日される国際機関幹部の方とマッチする人材登録者との個別面談を3回実施したところ、早速、1名がコンサルタントとしてWHO 西太平洋地域事務局に採用されました。この試みを継続することとなりました。次に、より積極的に人材を探すため、LinkedInを試行的に使うこととなりました。このLinkedInは、専門職間の情報ネットワークで、日本でも200万人が参加しています。高度な検索は有料ですが、登録とネットワーキングは可能ですから、ご登録をおすすめします。また、今年度、後半の活動についてもご助言頂きましたので、そのリストを右にお示しします。

11月	30日～ 12月1日	Global Health Diplomacy ワークショップ (東京大学、グローバルヘルス政策研究センターとの共催)
12月	7日～8日	第34回日本国際保健医療学会学術大会 ブース出展 (於：三重大学)
	14日	第4回国際臨床医学会学術集会オープン・フォーラム開催 (於：九州大学)
	15日	第3回GO UN ワークショップ開催 (於：国立国際医療研究センター)
2月	未定	キャリア・ディベロップメントに関するセミナー開催 (於：国立国際医療研究センター)
3月	未定	2019年第2回アドバイザーグループ会議 (於：国立国際医療研究センター)

第34回国際保健学会学術大会2019年12月7日及び8日：三重大学ではブース出展を、第4回国際臨床医学会学術集会2019年12月14日15:30～17:00：九州大学）では市民公開講座を実施しますので、是非、ご参加ください。その他のイベントについても、参加募集はHPあるいはメーリング・リストにて行いますので奮ってご参加ください。

在外邦人職員・留学生説明会



中谷センター長の訪米に合わせて9月16日には在ニューヨーク日本国政府代表部、17日にはワシントンにあるジョージタウン大学で開催しました。国際機関側からも参加があり、既に職員になっている方のキャリアアップの必要性など活発な議論が交わされました。

WHO のインターン制度の改変

WHOでは途上国からのインターンへの補助の開始など、インターン制度の改革を進めています。その一環としてインターンも公募して受け入れ側と応募者のマッチングをすることとなりました。2020年以降、日本の大学等から比較的短期の学部生を、こちらの都合で送り出すことが出来なくなります。インターンを送り出す大学等は、受け入れ希望先の部長等と相談して、公募に乗せてもらうことが必要になりますのでご留意ください。来年前半分は2019年10月半ば以降に広告されると通知を受けているので、関心のある方面におかれてはご注意ください。

グローバルヘルス人材のインタビュー連載の開始

グローバルヘルス人材戦略センターは、その活動の一環としてグローバルヘルス関連の国際機関の現役職員による講演会や個別進路相談会を定期的実施しています。こうした機会は志願者がグローバルヘルスにおけるキャリアをより明確にイメージし、一歩踏み出すきっかけになると考えています。この度、多様な国際機関・分野・ポストで活躍する現役のグローバルヘルス人材を「ロールモデル」としてインタビューし、次回以降のニュースレターに順次掲載していくこととなりました。グローバルヘルス分野でのキャリアを目指したきっかけ、そのために学生時代に心がけたこと、最初のアプローチ、キャリアパス、苦労したこと、やりがいを感じたこと、伝えたいメッセージ等をお聞きし、これからグローバルヘルス分野での活躍を目指す方々にとって具体的な指針となることを目指しています。多様な先駆者のご経験から、皆様の今後のキャリア形成の支えとなる礎石を学び取って頂きたいと思います。

■ 人材登録のお願い

10月現在、約460名の方が人材登録・検索システムに登録されており、ご希望に応じた情報がマッチング・メールにて届くようになっています。人材登録・検索システムの使い方に関する動画も登録ページに掲載しています。今後、WHOにおける募集や各種お知らせが続きますので、未登録の方は、この際、登録されますようお願いいたします。

<https://hrc-gh-system.ncgm.go.jp/>

